

バージョン12リリースノート

Flowmon Packet Investigator

注：VerUP時には再起動、及びファイルチェックが行われる場合があります。

Ver.No	リリース日	追加機能		
Ver. 12.02.01	2023/11/29	重要な情報		
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。		
		修正された不具合		
		不適切なバッファサイズの UIバリエーションが削除されました。		
		IPv6のパケットに分割されたmDNSトラフィックでは、FPI分析は失敗しないようになりました。		
		新機能		
		REST APIドキュメントは、すべてのアプライアンスでインタラクティブガイドとして利用できるようになりました。		
		C-ares パッケージがバージョン c-ares-1.10.0-3.el7_9.1 に更新され、CVE-2023-32067 が修正されました。		
		既知の不具合		
		NTPトラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。 タイムゾーン設定の変更により、将来のパケットキャプチャ作成に失敗することがある。回避策としては、タイムゾーンの変更後にFPIモジュールを再起動することです。		
Ver. 12.02.00	2023/10/5	重要な情報		
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。		
		新機能		
		Flowmon OSバージョン12.3.0以上と互換性があります。		
		Flowmonのドキュメントが https://docs.progress.com でご参照いただけます。		
		PHPが8.1に更新されました。		
		FPI Probe と FPI Collector 間の通信は、脆弱性スキャナーによる誤動作を防ぐため、オプションで TLS 暗号化を使用して保護することができます。		
		既知の不具合		
		NTPトラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。		
		Ver. 12.01.00	2023/4/4	重要な情報
H323 フィルタはサポートされなくなりました。バージョン12.1をインストールする前に、H323フィルターを使用しているすべての記録を停止するか、完了するのを待ちます。 出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。				
修正された不具合				
/limd.api/interception-requests/createZip におけるバストラバースルの脆弱性が修正されました。				
すべての記録をマークするチェックボックスが、「記録」ページで誤って記録としてカウントされることがなくなりました。				
SIPフィルターでパケットキャプチャを有効にしている場合、モニタリングレポートに障害が発生しないようになりました。				
既知の不具合				
NTPトラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。				
Flowmon Packet Investigator 12.01.00は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態でご出荷されています。				
Ver. 12.00.01	2022/5/10			重要な情報
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。		
		修正された不具合		
		Flowmon Packet Investigator ProbeはFlowmon Probe 200000 Proのアプライアンスに対応しました。		
		既知の不具合		
		NTPトラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。		
		Flowmon Packet Investigator 12.00.01は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態でご出荷されています。		
		Ver. 12.00.00	2022/3/2	重要な情報
				出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。
				修正された不具合
Flowmon Packet Investigatorをインストールしても、Flowmon Configuration Center - システム設定でsyslogサーバの操作に支障をきたさないようになりました。				
新機能				
Flowmon OS 12.0に対応しました。				
PHPがバージョン7.4に更新されました。				
既知の不具合				
NTPトラフィック分析で、「Server has wrong time set」というイベントが誤検知されることがあります。この問題は、今後のバグフィックスリリースで解決される予定です。				
Flowmon Packet Investigator 12.00.00は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態でご出荷されています。				

バージョン11リリースノート

Flowmon Packet Investigator

注：VerUP時には再起動、及びファイルチェックが行われる場合があります。

Ver.No	リリース日	追加機能
Ver 11.01.01	2021/9/6	重要な情報
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。 メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。
		Kemp Flowmon Packet Investigator 11.01.01からは、Kemp Technologies, Inc.が提供する他の製品やコンテンツに合わせて、新しい配色とロゴを使用しています。
		修正された不具合
		新しい記録を開始するときのパフォーマンスが改善されました。 既存の記録が多数存在していても、新規記録のAPI応答時間に悪影響を及ぼさなくなりました。
		空データの記録において失敗した分析は、正常に完了したと表示されるのではなく、失敗したと正しく表示されるようになりました。
		1024MB以上の適応パケットサイズは、Kemp Flowmon Packet Investigator Probeによって正常に処理されるようになりました。
		1つの記録のなかに多数の分析結果が存在していても、記録一覧のレイアウトが崩れなくなりました。
		既知の不具合
		Kemp Flowmon Packet Investigator 11.01.01は、製品内のユーザーガイドの日本語訳が古いバージョンの状態でご出荷されています。この翻訳は、次のバグ修正バージョンで更新される予定です。
Ver.11.01.0	2021/5/24	重要な情報
		出力された設定の前方互換性は、同じメジャーバージョン内のすべてのバージョンで保証されます。 メジャーバージョン間においては、一つ前のメジャーバージョン内で最後にリリースされた安定版のバージョンが、次のメジャーバージョンと互換性のある設定を出力することが保証されています。 例：Flowmon Packet Investigator 11では、11.0.xでの設定の出力は次のメジャーバージョンの最初のバージョンである11.1.yと互換性があります。メジャーバージョン間のアップグレードでは、最後の11.1.xから出力された設定は、次のメジャーバージョンの最初のバージョンである12.0.yと互換性があります。
		修正された不具合
		コネクタアプライアンスで管理インターフェースのIP設定を変更した後、録画が空になる問題は解決されました。 詳細については、以下の警告のセクションを参照してください。
		2020年下半年以降に製造されたFlowmon Probe 40000アプライアンスのモニタリングポートにおける適応パケット構成の問題は解決されました。
		MellanoxのNICを搭載したFlowmon Probe 20000 Proの問題は解決されました。 Flowmon Packet Investigator Probeは、11.1.0 Betaリリースからは、同アプライアンスと完全な互換性があります。
		新機能
		Flowmon Packet InvestigatorのWebインターフェースが更新されました。 総合的な目標は、不要な情報を減らし、実用的な機能性を強調し、より多くの記録を扱う際の応答性を向上させることです。 Flowmon Packet Investigatorの解析機能が拡張され、ARP、ICMP、NTPのプロトコルがサポート可能となりました。 また、これらの汎用プロトコルに加えて IoT特有のプロトコルであるCoAP、IEC104、GOOSE、MMS、MQTTも追加されました。これらすべてのプロトコルは、Flowmon Packet Investigatorで作成したPCAP、または同製品以外で作成したPCAPをアップロードした場合の解析に適用することができます。
		既知の不具合
		Flowmon Packet Investigator 11.1.0 Betaは、製品内の日本語版ユーザーガイドが古いバージョンでご出荷されています。この翻訳は、安定版のリリース前に更新される予定です。
Ver.11.00.03	2020/7/20	修正された不具合
		Flowmon Traffic RecorderからFlowmon Packet Investigatorへアップグレード時にFlowmon Configuration Center内で表示されていた誤った製品名を修正しました。
		修正された不具合
		FPIコンフィギュレーションオプションの名前がConfiguration Centerでモニタリングポートと一致するように変更しました。
		Ver10からのアップグレード時に発生する、「記録」機能に関する問題を修正しました。
		Flowmon ADSでキャプチャしたPCAPがFlowmon ADSの「イベント証跡」からダウンロードできない問題を修正しました。
		診断エンジンのいくつかの問題を修正しました。
		新機能
		「中断済み」の記録が解析できるようになりました。
		Ver.11.00.00
Flowmon Packet Investigator Probe ver11は、Flowmon OS ver.11.00.00以上と互換性があります。		
Flowmon Packet InvestigatorはFlowmon Traffic Recorderの後継製品であり、トラフィック分析の新機能を提供します。 - トラフィック解析はライセンスアップグレード後に利用できます。 ※アップグレードについては、Flowmonサポートまでお問い合わせください。 - Flowmon Packet Investigatorのアップグレードライセンスをお持ちでないお客様は、Flowmon Packet Investigatorにアップグレード後もFlowmon Traffic Recorderとして利用できます。 また保守サポートも引き続き有効となります。 - Flowmon Packet Investigator Collector ver11は、Flowmon OS ver.11.00.00以上と互換性があります。		
新機能		

<p>トラフィック解析機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">- Flowmon Packet Investigator モジュールでは、最も一般的に使用されているネットワークプロトコルの解析を提供できるようになりました。その結果、運用上の問題の検出/ネットワークのトラブルシューティングを支援します。- 解析結果は、パケットデータの各イベントの詳細情報をイベントツリーの形で可視化し、問題の説明と改善策の提案を行います。- サポートされているプロトコルはDHCP、DNS、FTP、IMAP、IMF、POP、SIP、SLAAC、SMB、SMTP、IP、TCP、SSL、HTTPです。- 詳細については、ユーザーガイドの第6.7章 トラフィック解析をご参照ください。
<p>PCAPファイルのアップロード機能を追加しました。</p> <ul style="list-style-type: none">- 外部ソースからのトラフィック記録（PCAP形式）をFlowmon Packet Investigatorにアップロードすることができます。- アップロードしたPCAPは「記録」画面に表示され、FPIでキャプチャしたものと同様に解析ができます。
<p>既知の不具合</p>
<p>Flowmon ADSでキャプチャしたPCAPは、Flowmon ADSの「イベント証跡」からダウンロードできません。キャプチャしたPCAPは、Flowmon Packet Investigatorからダウンロードすることができます。</p>